韓国でランピースキン病がさらに急拡大!!

ランピースキン病は、牛の生産性に大きな影響を及ぼす法定伝染病です。韓国では本年10月13日以降の約１週間でさらに５５件発生し、感染地域も拡大しており、国内侵入リスクが非常に高まっています！

韓国におけるランピースキン病の発生状況　（2026年10月20日時点）

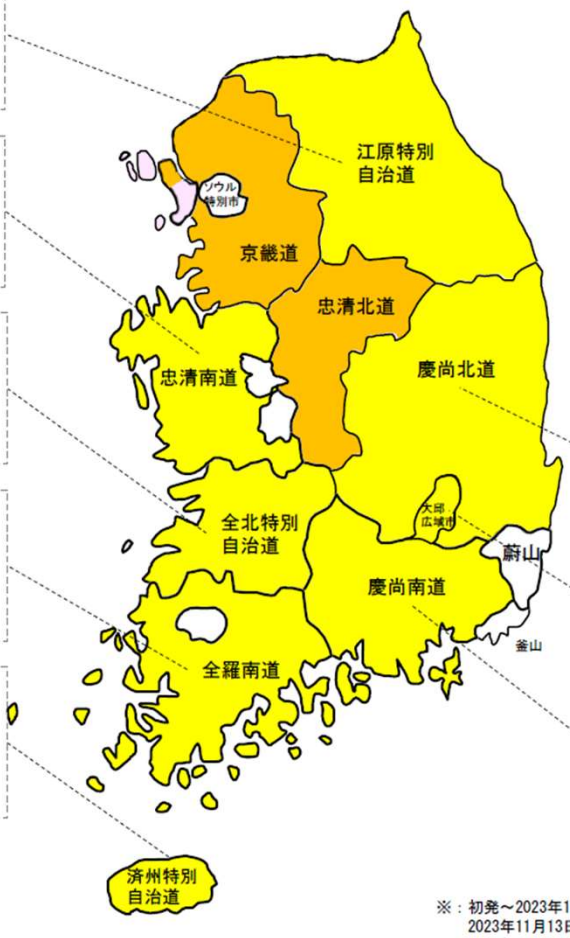
江原特別自治道
最新発生日：2026年９月15日
発生件数：１件
※　2026年における初発日：９月15日

忠清南道
最新発生日：2026年10月15日
発生件数：33件
※　2026年における初発日：８月７日

全北特別自治道
最新発生日：2026年10月13日
発生件数：32件
※　2026年における初発日：７月10日

全羅南道
最新発生日：2026年10月16日
発生件数：66件
※　2026年における初発日：７月30日

済州特別自治道
最新発生日：2026年９月12日
発生件数：６件
※　2026年における初発日：９月７日



	発生件数	殺処分対象頭数※
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	－	－
2026年	152件	－

:2026年に発生が確認された行政区画
:2024年が最終発生年（2025年以降、発生なし）
:2023年が最終発生年（2024年以降、発生なし）

慶尚北道
最新発生日：2026年10月14日
発生件数：７件
※　2026年における初発日：９月26日

大邱広域市
最新発生日：2026年10月13日
発生件数：１件
※　2026年における初発日：10月13日

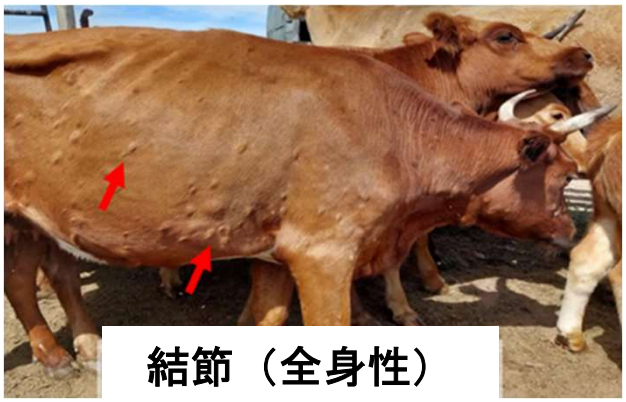
慶尚南道
最新発生日：2026年10月15日
発生件数：６件
※　2026年における初発日：10月６日

※：初発～2023年11月12日：発生農場単位で殺処分
2023年11月13日～2024年11月24日：感染牛のみ殺処分
2024年11月25日～：感染牛のみ隔離、一定期間を経て陰性が確認されれば、殺処分免除

農林水産省動物衛生課
出典：韓国当局公表資料等を基に作成

感染経路：蚊・サシバエ・ダニによる機械的伝播
症　　状：全身の皮膚の結節、泌乳量の減少、発熱

侵入防止対策の徹底と、症状を認めた際は、早期通報をお願いします！


結節（全身性）

京都府中丹家畜保健衛生所　福知山市字半田371-2
☎：0773-25-1860　＊休日・夜間は転送されます